

作成日 2020年03月29日
 改定日 年 月 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 アクティヴテクス AS161
 会社名 株式会社アサヒ産業
 住所 埼玉県川口市朝日4-21-62
 担当部署 営業グループ 空調部
 担当者名 諸岡 厚志
 電話番号 048-227-5121
 ファックス番号 048-227-5122
 整理番号 SDS2020-0028

2. 危険有害性の要約

GHS分類 物理化学的危険性 : GHS分類に該当するデータなし
 GHS分類に該当しない他の危険有害性 : 本製品はシート状の製品であり通常の取り扱いにおいては「吸入」や「眼に入る」又は「誤飲」に対する障害は予見されない。本製品の二次加工の際の裁断・加熱・溶着作業・折り曲げなどの際に発生する粉塵・裁断くずなどの危険性は4項の応急措置に示した。

GHSラベル要素

絵表示 : 該当無し
 注意喚起語 : 該当なし
 危険有害性情報 : 該当なし
 注意書き : 該当なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 混合物

一般名 綿繊維／パラフィン樹脂含浸シート

主要原料・含浸物	CAS No.	含有量 (%)
基材 : 綿繊維	—	非公開
含浸剤 : スレン染料	1328-12-7	
含浸剤 : ロジン樹脂	化審法 : 7-941	
含浸剤 : 酸化鉄	20344-49-4	

含浸剤 : ベンズイミダゾール系化合物	非公開	
含浸剤 : パラフィン・ワックス	64742-51-4	
含浸剤 : 窒素硫黄系化合物	非公開	
含浸剤 : 脂肪酸	67701-02-4	

毒物及び劇物取締法（毒）、労働安全衛生法（安）及び化学物質排出把握管理促進法（排）上名称等を通知すべき義務を有する物質について示した。尚、それ以外は主成分を開示した。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 通常の使用で吸引することはないが、加熱または燃焼などによって生じるガスを吸入した場合は直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ安静にする。その後異常があれば医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 通常の使用で付着する事はないが 高温時に溶融した状態で発生したガスの凝固物が付着した場合、大量の水を掛け十分に冷却させ、医師の診断を受ける。付着した凝固物を無理に剥がしてはならない。
- 眼に入った場合 : 眼に入った場合、清浄な水で洗い流すこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外し、その後も洗浄を継続すること。もし眼の刺激が継続するようであれば医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、症状によっては医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消化剤 : 消化器（粉末・泡沫・炭酸ガス）、防火砂、大量の水
- 火災時の特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 不完全燃焼時には、有害性ガスなどが発生するので、閉鎖された場所における消火にあたっては、酸素ボンベ等の呼吸に必要な酸素を供給することができる装備をした上で消火作業を行なう必要がある。
- 消火を行なう者の特別な保護具及び予防措置 : 呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 鼻や口からの摂取、眼に入らないように留意する。
- 保護具及び緊急措置 : 特に保護具などは必要ない。
- 環境に対する注意事項 : 環境においては長期間分解せず、環境汚染の原因となるため、河川などに放出しない。海洋生物、鳥類が誤って食べることがあるので、いかなる海洋や水域にも投棄、放出をしてはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 地面や床面に落ちた場合、足下を滑らせる危険があるので、速やかに

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱いや設備での注意	: 禁煙、周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。眼や皮膚に触れたりしないように必要に応じ手袋、保護眼鏡（ゴーグルタイプが望ましい）、粉じんマスク（国家検定品）を使用する。
保管上の注意	: 火気厳禁。雨水などがかからないように注意する。高温多湿環境で長期間保管するとカビが発生する場合がある。直射日光、白熱灯や水銀灯等高温や強い紫外線を出す照明の近くには保管しない。また保管場所は施錠して保管する。
概要	: 適切な取扱いを行なう限り、人体に悪影響を及ぼしたという報告は、これまででない。
毒性	: 適用されず。
人体への影響	: アレルギー体質の方は、接触により皮膚障害を起す可能性あり。必要に応じて、触れた箇所を石鹸にてよく洗浄する。症状によっては医師の診断を受ける。
高温時作業の注意	: 高温で取り扱う場合、揮散化蒸気または分解生成物の吸入などによって眼、鼻、喉に刺激を感じることもある。刺激が持続する場合、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静にする。その後異常があれば医師の診断を受ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	: 適用されない
設備対策	: 通常の手取り扱いは問題ない
保護具	: 通常の手取り扱いは問題ない
静電気	: 防電対策（除電テープ・静電気除去装置）など適時使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: シート状
色	: 濃緑色
臭い	: わずかな臭気
融点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 情報なし
可燃性	: あり
引火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 情報なし

溶解度	: 水に不溶
蒸気圧	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし
比重（相対密度）	: 情報なし

1 0．安定性及び反応性

反応性	: 通常の取り扱いにおいては安定である。
化学的安定性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	: 一般的な貯蔵・取扱いにおいては安定である。
避けるべき条件	: 高温に曝されると、分解し有害性ガスを発生する。
混触危険物質	: 火気に近づけない。
危険有害な分解生成物	: 燃焼時により二酸化炭素、一酸化炭素などの有害ガスが発生するおそれがある。

1 1．有害性情報

急性毒性	: 知見なし
皮膚腐食性／刺激性	: 知見なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 知見なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 知見なし
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 知見なし
特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 知見なし
誤えん有害性	: 知見なし

1 2．環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

1 3．廃棄上の注意

廃棄の方法	: 各自治体の条例に従って焼却などの処理を行なう。委託する場合は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
-------	--

14. 輸送上の注意

- 注意事項 : 転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
行なう。水漏れ、高温放置、直射日光を避ける。
- 米国の道路・鉄道法令情報 : 該当しない
- 国際海上（IMDG） : 該当しない
- 国際航空（ICAO/IATA） : 該当しない

15. 適用法令

- 1) 消防法 : 市町村条例に従った対応を行うこと。
- 2) 労働安全衛生法 : 該当しない
- 3) 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 4) 産業廃棄物 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性などに関しては、いかなる保証をなすものでもありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

【参考文献】

- 「産業中毒便覧（医歯薬出版）Registry of Toxic Effects of Chemical Substances」
「既存化学物質ハンドブック」
「プラスチックデータハンドブック」工業調査会（1980）

【参考資料】

- 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 : GHS分類結果データベース
安全衛生情報センター : GHS対応モデルMSDS
GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成基準（JIS Z7253:2019）